

## セミナー開催案内

### CT セミナー

(CT 専門委員会)

現在、CT 検査では Dual energy 技術の臨床応用が進んでいます。Dual Energy Imaging は、2 種類の X 線エネルギー帯域の線減弱係数の違いを用いて画像化することで多くの情報を取得でき、「造影剤低減」、「画質向上」、「物質弁別」など様々な臨床的用途が期待されています。第 73 回北海道支部春季大会 CT セミナー「Dual Energy CT ってなに??」にて、我々はその基礎部分に触れました。

今回の CT セミナーでは、「画像特性」に着目し、現在の Dual Energy Imaging の実力について触れていきたいと思います。まだ不明確な部分も多く、すっきりできるかわかりませんが、少しでも紐解けたらと考えております。現在 Dual Energy Imaging を使用している方も使用していない方も是非奮ってご参加ください。共に理解を深めましょう！！

日 時：平成 31 年 4 月 20 日（土曜日） 13：00～14：30

場 所：札幌医科大学附属病院 1 階 講堂（第一会場）

テーマ：「Dual Energy CT ～その実力はいかなるものか編～」

座 長：小倉 圭史（札幌医科大学附属病院）

高林 健（北海道消化器科病院）

演 者：DE imaging の必要性

佐々木康二（札幌心臓血管クリニック）

DE imaging の画像特性（空間分解能・ノイズ）

板谷 春佑（手稲溪仁会病院）

DE imaging の物質弁別精度

津元 崇弘（札幌厚生病院）

### アンギオセミナー

(アンギオ専門委員会)

アンギオ専門委員会ではこれまで血管造影室やハイブリットオペ室などにおける、いわゆる「血管系 IVR」について“初心者にもわかりやすい”をモットーにセミナーを行ってきました。

ただ血管造影室（一部は X 線 TV 室でも行いますが）では、いままでセミナーでお話ししてきた血管系の疾患に対する検査・治療だけではなく、血管撮影装置の他にも、エコーや CT などを併用して、経皮経肝的胆管ドレナージ (PTCD)、膿瘍ドレナージ (PTAD)、生検、CV ポートの植込術、経皮経食道胃管挿入術 (PTEG)、デンバーシャントなど、血管に関係のない部位への検査・治療など多種多様な手技も行われています。

そこで、今回のセミナーは、普段あまり陽のあたらないこれら「非血管系 IVR」にスポットを当てて行きます。モットーの“初心者にもわかりやすい”は変わりませんので、「へーっ、こんなこともやっているんだー」くらいの軽い気持ちで聞きに来て下さい。

ビギナーは知識の習得に、ベテランは知識の復習に、と多くの皆さんの来場をお待ちしています。

日 時：平成 31 年 4 月 20 日（土曜日） 13：00～14：00

場 所：札幌医科大学附属病院 地下 1 階 看護部研修室（第三会場）

テーマ：「非血管系 IVR について」

座 長：工藤 環（札幌心臓血管クリニック）

演 者：三ツ井貴博（市立旭川病院）

## 消化管 & 超音波・乳房画像 コラボセミナー

(消化管 & 超音波専門委員会・乳房画像専門委員会)

今回の春季大会ではテーマを『検診による乳がん早期発見のための放射線技師的アプローチ』とし、消化管 & 超音波専門委員会と乳房画像専門委員会のコラボセミナーを開催いたします。

2017年の統計では、女性のがん罹患率の第1位は“乳がん”となっています。乳がんの早期発見のために、精度管理中央機構や各種学会にてさまざまな取り組みがなされていますが、依然として飛躍的な乳がん検診受診率向上とは言えず、検査を行う側の体制も整っているとは言い難いのが現状です。そこで今回、消化管 & 超音波専門委員会と乳房画像専門委員会がコラボ企画を開催し、MMGと乳腺エコーの基本的な部分を再確認していただき、乳がん検診の精度向上に役立てていただきたいと思います。

これからMMGや乳腺エコーを覚えようとしている方、始めたもののいまいち自信が持てない方、さらにベテランの方の再確認としても勉強になる、新しい情報交流のスタートとしての内容にしたいと思います。

みなさんの参加をお待ちしております！

日 時：平成31年4月20日（土曜日） 13：00～14：30

場 所：札幌医科大学附属病院 2階 臨床第一講義室（第二会場）

テーマ：『検診による乳がん早期発見のための放射線技師的アプローチ』

座 長：阿部 裕子（KKR札幌医療センター）

中村 俊一（JA北海道厚生連帯広厚生病院）

演 者：『検診におけるMMGの実際と改善への着眼点』

砂金 尚枝（勤医協中央病院）

『MMGを読影してみよう～読影の手順とポイントについて～』

岡崎 真悟（JA北海道厚生連旭川厚生病院）

『乳腺USの検査の実際と画像の成り立ち』

島崎 洋（JA北海道厚生連遠軽厚生病院）

『乳腺USを読影してみよう～カテゴリの基本～（仮）』

松井 麻未（北海道対がん協会 札幌検診センター）

## MR セミナー

(MR 専門委員会)

MR の新しい高速撮像技術として、画像再構成に圧縮センシングを応用した技術が多くの装置メーカーからリリースされ、普及が進んできている。

本セミナーでは、「under sampling story 2 ～圧縮センシング MR～」をテーマとして、圧縮センシング MR の基礎と、現状での臨床応用について、MR 初心者の方にもわかりやすく解説したいと考えておりますので、多数のご参加をお待ちしております。

日 時：平成 31 年 4 月 20 日（土曜日） 17：10～18：40

場 所：札幌医科大学附属病院 臨床教育研究棟 1 階 講堂（第一会場）

テーマ：「under sampling story 2 ～圧縮センシング MR～」

座 長：中西 光広（札幌医科大学附属病院）

演 者：基礎編 佃 幸一郎（NTT 東日本札幌病院）

臨床編 石坂 欣也（北海道大学病院）

## デジタル画像セミナー

(デジタル画像専門委員会)

アナログシステムや CR を用いた断層撮影は、過去、胸部や頭部領域などを対象に盛んに行われていました。CT の普及によって断層撮影は影を潜めましたが、FPD とその搭載装置の開発および画像処理技術の進歩に伴ってデジタル断層撮影法であるトモシンセシスとして甦り、近年、整形外科や乳腺をはじめ、多くの領域で有用性が報告されています。

本セミナーでは、断層撮影の歴史を振り返りながら、トモシンセシスの基礎や特長、臨床応用について解説いたします。多数ご参加くださいますよう、どうぞよろしく願いいたします。

日 時：平成 31 年 4 月 20 日（土曜日） 17：10～18：10

場 所：札幌医科大学附属病院 2 階 臨床第一講義室（第二会場）

テーマ：「トモシンセシスの基礎と臨床応用」

座 長：牧野 佑也（JCHO 札幌北辰病院）

演 者：鈴木 信昭（NTT 東日本札幌病院）

## 整形外科セミナー

(整形外科専門委員会)

これまでの整形外科セミナーでは、日常の診療および研究を進めていくうえでも把握しておくべき知識として、代表的な外傷の受傷機序，わかっているようであまりわかっていない疲労骨折や炎症性疾患を取り上げてきました。

今回は，知っているようで知らない，そして知っておくと得をするかもしれない整形外科領域検査の Tips について解説いたします。

皆様と活発な議論ができればと考えております。多数のご参加をお待ちしております。

日 時：平成 31 年 4 月 20 日（土曜日） 17：10～18：10

場 所：札幌医科大学附属病院 地下 1 階 看護部研修室（第三会場）

テーマ：「知っておくと得をするかもしれない整形外科領域検査の Tips」

座 長：谷 祐児（旭川医科大学）

演 者：山口 大樹（我汝会えにわ病院）

演 者：竹内みつお（長沼整形外科・リハビリテーション科）

## 計測防護セミナー

(計測防護専門委員会)

2015 年 6 月 7 日に日本における診断参考レベル（Japan DRLs 2015）が発表されてから 4 年が経過しようとしています。また，来年の 4 月からは医療法施行規則の省令改正が予定されており，医療被ばくの最適化への取り組みが求められてきています。今回のセミナーでは，DRL を振り返りつつ，導入されてからの各施設での取り組み等を紹介します。

日 時：平成 31 年 4 月 21 日（日曜日） 12：00～13：30

場 所：札幌医科大学附属病院 1 階 講堂（第一会場）

テーマ：「Japan DRLs 2015 の導入とその後」

座 長：森 泰成（JCHO 北海道病院 放射線部）

演 者：森 泰成（JCHO 北海道病院 放射線部）

大島 貴仁（苫小牧市立病院）

柴田 隼（我汝会 えにわ病院）

田中 伸博（医仁会 中村記念南病院）

松尾 勇斗（北海道大学病院）

## 医療情報セミナー

(医療情報専門委員会)

今回の医療情報セミナーでは、昨年9月6日に最大震度7を記録した胆振東部地震とその後の道内全域停電を振り返り、医療機関における災害時の対応について取り扱います。今回の地震や停電によって、医療機関ではいわゆる災害時モードでの診療を行い、限られた人員で、非常用発電機の容量などの制限を受けながら診療機器や情報システムを動かした病院も多かったのではないかと思います。セミナーでは、札幌医科大学附属病院、北海道大学病院での事例を紹介し、さらに今後に備えて、部署全体の運用や情報システムを災害時も継続していくために、どのように災害対策を考えなければいけないのかを解説します。委員一同、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：平成31年4月21日(日曜日) 12:00～13:00

場 所：札幌医科大学附属病院 2階 臨床第一講義室(第二会場)

テーマ：「胆振東部地震の事例から学ぶ災害対策」

司 会：谷川 琢海(北海道科学大学)

演 者：「札幌医科大学附属病院における停電による検査への影響」 原田 耕平(札幌医科大学附属病院)  
「北海道大学病院における発災時の初動対応」 安渡 大輔(北海道大学病院)  
「災害時事業継続計画(BCP)の必要性について」 谷川 琢海(北海道科学大学)